

桜区防災ニュース

第21号（令和3年1月）

刈谷市桜区自主防災会

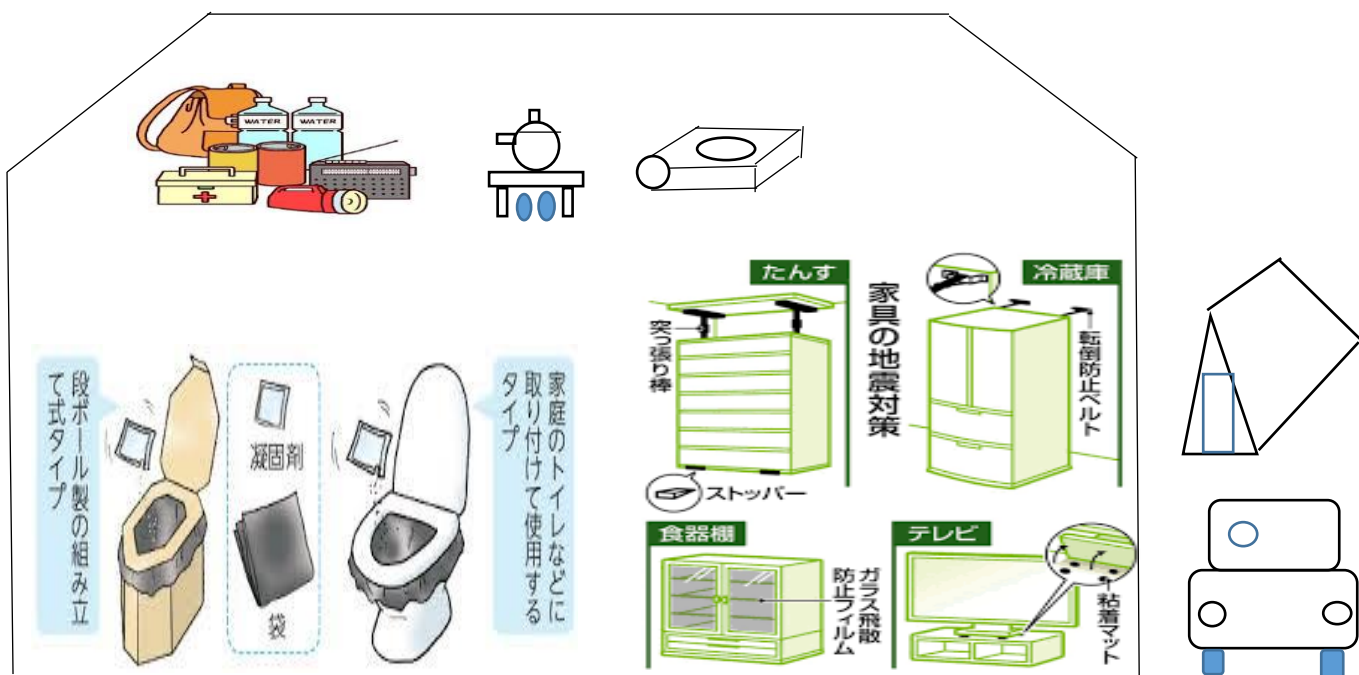
コロナ禍の防災

桜地区の皆さま、新年おめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、自主防災活動も停滞しました。しかし災害はいつやって来るか分かりません。コロナ禍の災害は複合災害と言われています。昨年7月の熊本県球磨川の氾濫では、県外ボランティアも集まらず大変苦労したそうです。

現在の科学技術では、地震の予知はかなり難しく、地球温暖化によりスーパー台風や集中豪雨が発生する可能性も高まっています。今一番問われているのは、いかに事前に備えるかということです。特にコロナ禍においては、避難所のあり方も見直されています。今までのような雑魚寝ではなく間仕切りを設け、通路を広くとったレイアウトが必要になってきます。そうすると収容人数も限られて、避難場所が不足する可能性があります。

避難とは難を避けることです。避難所へ行くだけが避難ではありません。在宅避難（含む車中泊、テント泊）や縁故避難（親戚、知り合い等）が必要です。そのためには、今までお伝えしたように家の耐震化、家具の固定、水・食料の備蓄などを改めてお願いします。災害には事前の備えを徹底するとともに、もし災害が発生した場合は**自助・共助・公助**で力を合わせて対応しましょう。



特に T（トイレ） K（キッチン；水・食料） B（ベッド） の備えを！